

第6節 アジア太平洋の経済関係深化

アジアは、世界経済危機からいち早く回復し高い経済成長を実現しており、世界の「工場」としてのみならず世界の「市場」として注目を集めるようになった。こうしたアジアの経済成長は、欧米等先進国経済の回復の遅れが見込まれる中、世界経済の持続的な成長をけん引するものとして大きく期待されている。一方、アジア経済の持続的な成長実現には、高齢化、資源制約など様々な共通課題を克服する必要がある。こ

うした問題への対応としては、アジア域内での協力に加え、より広域なアジア太平洋ワイドでの経済関係強化に向けて協力を進めていくことが有効である。

本年は我が国がAPECの議長となり、APECを開催する。本節では、第3章第3節で詳述する「2010年日本APECにおける取組」の背景として、アジア太平洋地域の経済の現状、特徴等を紹介する。

1 存在感が高まるアジア太平洋経済

(1) APEC参加国・地域の経済

APECは1989年に創設され、今年で21年目を迎える、経済面での協力を中心とする地域枠組みである。アジア太平洋地域の21の国・地域から構成され、世界全体のGDPの約5割、世界人口の約4割、世界全体の貿易額の約4割を占めている（第2-6-1-1表）。

一方、参加国・地域の人口規模、1人当たり名目GDPの差は大きく、多様な国と地域が参加する枠組みといえる。

APEC参加国・地域が現在の21か国・地域となった1998年から2008年までをみると、世界の貿易額の増加とともに、APEC参加国・地域の貿易額が増加して

第2-6-1-1表 APEC参加国・地域の概要

年 単位	人口	名目GDP	1人当たり名目GDP	総貿易額	実質GDP成長率
	2009年 億人	2009年 10億ドル	2009年 ドル	2008年 10億ドル	2009年 %
日本	1.28	5,068	39,731	1,545	-5.2
中国	13.35	4,909	3,678	2,561	8.7
香港	0.07	211	29,827	752	-2.7
韓国	0.49	833	17,074	862	0.2
台湾	0.23	379	16,391	-	-1.9
シンガポール	0.05	177	37,291	659	-2.0
ブルネイ	0.004	11	26,299	13	-0.5
インドネシア	2.32	539	2,329	266	4.5
マレーシア	0.28	191	6,897	356	-1.7
フィリピン	0.92	161	1,746	110	0.9
タイ	0.67	264	3,940	352	-2.3
ベトナム	0.87	92	1,060	143	5.3
豪州	0.22	997	46,073	397	1.3
ニュージーランド	0.04	118	27,261	65	-1.6
パプアニューギニア	0.06	8	1,247	12	4.5
ロシア	1.41	1,229	8,694	727	-7.9
米国	3.07	14,256	46,381	3,180	-2.4
カナダ	0.34	1,336	39,668	865	-2.6
メキシコ	1.08	875	8,135	600	-6.5
チリ	0.17	162	9,525	126	-1.5
ペルー	0.29	127	4,356	54	0.9
APEC計	27.21 40.4%	31,943 55.1%	11,742 -	13,646 41.9%	-
(参考) ASEAN+3計	21.02 31.2%	12,289 21.2%	5,846 -	6,898 21.2%	-
(参考) ASEAN+6計	33.27 49.4%	14,640 25.3%	4,400 -	7,819 24.0%	-
世界計	67.34	57,937	8,604	32,550	-

備考：1. 1人当たり名目GDP=名目GDP/人口。

2. 下段は世界計に占める割合。

資料：人口、名目GDPはIMF「World Economic Outlook Database April 2010」、貿易額はIMF「DOT」から作成。

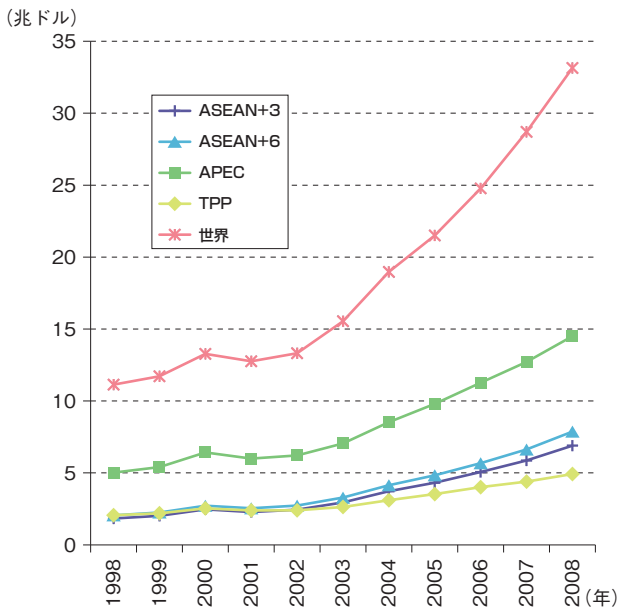
いる（第2-6-1-2図）。

APECの域内貿易比率は、65.2%（2008年）とEUやNAFTAの値を上回っており、APEC参加国・地域間の経済的結びつきが密接であることを表している（第2-6-1-3図）。高い域内貿易比率の背景には、APECが取り組んできた貿易・投資の自由化やビジネスの円滑化推進の取組が挙げられる。また、APEC域内での経済連携協定等による関税引下げの進展、原料や部品の調達、製造・販売までの流れ（サプライチェーン）が構築されつつあり、APEC域内で相互に補完し合っていることなどが考えられる。

(2) 我が国と関係の深いAPEC

我が国とAPEC参加国・地域の2009年の貿易額を

第2-6-1-2図 APEC及びその他枠組みの貿易額の推移

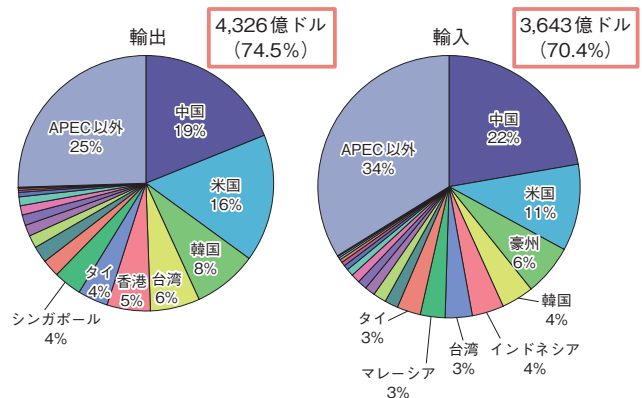


備考：1. 輸出額、輸入額の合計。
2. TPPは米国、豪州、NZ、チリ、ペルー、ブルネイ、シンガポール、ベトナム。
資料：IMF「DOT」、台湾貿易統計から作成。

みると、輸出額は4,326億ドルで全体の74.5%、輸入額は3,643億ドルで全体の70.4%を占めている（第2-6-1-4図）。

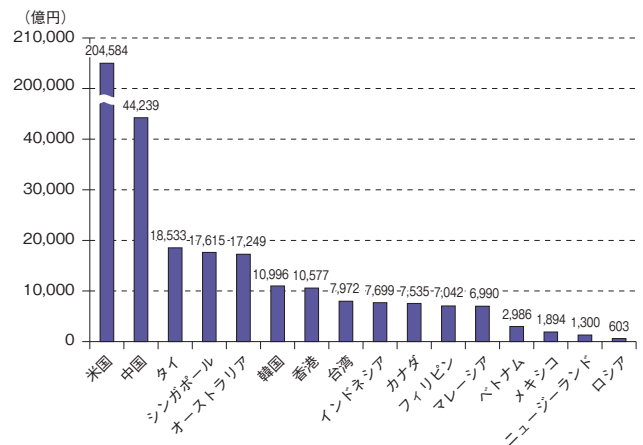
我が国からAPEC参加国・地域への直接投資残高は2008年末時点で約37兆円であり、全体の約6割を占めている。我が国とAPEC参加国・地域は貿易・投資ともに密接な関係にある（第2-6-1-5図）。

第2-6-1-4図 我が国とAPEC参加国・地域の貿易額（2009年）



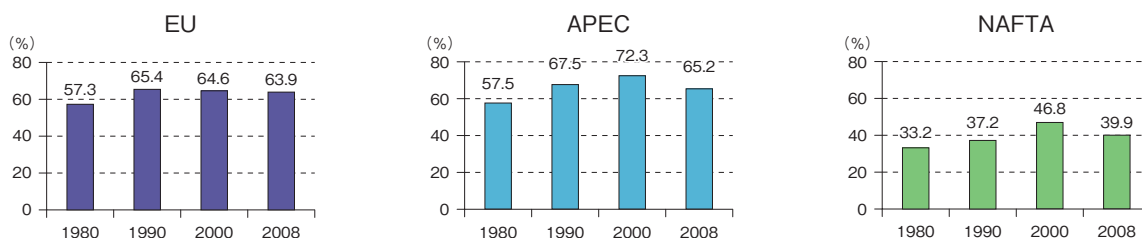
資料：World Trade Atlasから作成。

第2-6-1-5図 我が国からAPEC参加国・地域への直接投資残高（2008年末）



資料：日本銀行「国際収支統計」から作成。

第2-6-1-3図 APEC、EU、NAFTAの域内貿易比率の推移



備考：域内貿易比率は、(域内輸出額+域内輸入額) / (対世界輸出額+対世界輸入額) × 100。
資料：JETRO「2009年版ジェトロ貿易投資白書」から作成。
原出所：IMF「DOT」、台湾貿易統計、香港貿易統計、シンガポール貿易統計。